

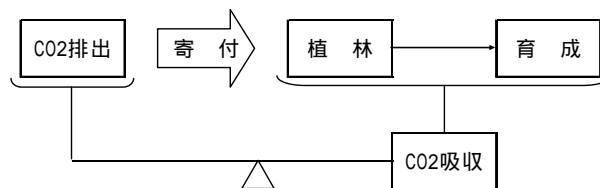
平成19年度 カーボンオフセット県民運動 事業報告書

1 概要

毎日の生活の中で、いくら削減努力をしても二酸化炭素の排出をゼロにすることは困難です。このため、日常生活で排出されたCO₂を大気環境木に吸収させることで埋め合わせする「カーボンオフセット県民運動」を県と協働して推進した。

カーボンオフセット (Carbon Offset) の仕組み

日常生活や事業活動で排出された二酸化炭素 (= カーボン) を吸収する大気環境木を育てることで、出してしまった二酸化炭素を埋め合わせ (= オフセット) する仕組み



大気環境木は、成長すると年間 26.5 kgの二酸化炭素を吸収すると言われていますが、これは毎日2時間テレビを見た場合の二酸化炭素排出量に相当する

2 事業内容

(1) 寄付金の募集

カーボンオフセット県民運動を推進するため、PRパネル及びチラシを作成し、各種イベントやホームページ等において、日常生活でのCO₂削減事例、カーボンオフセットの仕組みをPRするとともに、大気環境木の苗木購入のための寄付金を募集した。

イベントの出展

次のイベントに参加し、県民から寄付金を募集した。

	開催日	イベント名	開催市町村
1	H19.6.24(日)	日本平成エコピアデー	関市
2	H19.10.8(祝)	環境フェアみずなみ2007	瑞浪市
3	H19.10.20(土)	第5回環境フェア中津川	中津川市
4	H19.10.27・28(土・日)	岐阜まるごと環境フェア2007	岐阜市
5	H19.10.27(土)	環境フェアいけだ	池田町
6	H19.10.28(日)	環境フェアせき2007	関市
7	H19.11.3(祝)	御嵩町環境フェア2007	御嵩町
8	H19.11.10・11(土・日)	美濃市産業祭	美濃市
9	H20.3.8・9(土・日)	第8回環境市民フェスティバル	大垣市

岐阜県地球温暖化防止活動推進員研修会

センターが主催する研修会（年5回）で、推進員から寄付金を募集した。

	開催日	研修内容	開催場所
1	H19. 7. 5 (木)	講義研修	岐阜市
2	H19. 9. 8 (土)	実践講座	岐阜市
3	H19.10. 3 (水)	体験研修（施設見学）	瑞浪市・恵那市
4	H19.12. 4 (火)	講義研修	岐阜市
5	H20. 2.28 (木)	体験研修（施設見学）	名古屋市・碧南市

センター主催事業

地球温暖化防止シンポジウム、一村一品知恵の環づくり事業選考会開催時に参加者から寄付金を募集した。

	開催日	研修内容	開催地
1	H20. 1.26 (土)	地球温暖化防止シンポジウム ストップ地球温暖化！ やってみま笑(しょう) エコライフ	可児市
2	H19.11.30(金)	一村一品知恵の環づくり事業選考会	岐阜市

団体からの寄付

カーボンオフセット県民運動をホームページ等でPRした結果、2団体から寄付を受けた。

3 大気環境木の購入・提供

県民からの寄付金をもとに、平成20年3月に大気環境木を89本購入した。

これを岐阜県に提供し、県が実施する「大気環境木の森づくり事業」において、県内小中学校等に植栽された。

(1) 募金の実績

募金額 金75,521円

(2) 苗木の寄付

カーボンオフセット県民運動により集まった事業者、県民等からの資金を二酸化炭素削減のための植栽事業に利用するため、次の大気環境木を岐阜県に寄付した。

イチョウ 苗木	2本
ケヤキ 苗木	2本
シダレザクラ 苗木	2本

ポプラ 苗木	2本
マサキ 苗木	2本
ヤマモモ 苗木	2本
センダン 苗木	2本
オオムラサキツツジ 苗木	70本
オオシマザクラ 苗木	5本

(3) 苗木の植栽

当センターが寄付した苗木は、岐阜県が実施する「大気環境木の森づくり事業」として、次の施設に植栽された。

	植栽日	植栽場所	植栽した苗木
1	H20. 3.11(火)	恵那市立明智小学校	オオムラサキツツジ 30本
2	H20. 3.12(水)	可児郡御嵩町立御嵩小学校	オオムラサキツツジ 25本
3	H20. 3.13(木)	今小路学園 くるみ幼稚園	イチョウ 2本 ケヤキ 2本 シダレザクラ 2本 ポプラ 2本 マサキ 2本 ヤマモモ 2本 センダン 2本
4	H20. 3.22(土)	大垣市興文中学校	オオシマザクラ 5本 オオムラサキツツジ 15本

4 まとめ

「カーボン・オフセット県民運動」を推進することにより、平成19年6月1日より県民や企業等から寄付金を募った。寄付金は金75,521円になり、二酸化炭素の吸収能力の高い大気環境木89本を植栽した。

当初予定の募金額200,000円にはいたらなかったが、イベント等でパネル展示等により、「カーボン・オフセット県民運動」を普及啓発できた。翌年度以降は、本年度以上に寄付を募るための手法を考えていきたい。